

2012年10月30日

東京ガス株式会社

2013年3月期 第2四半期 決算説明会

主なQ & A

- Q 1 : 工業用ガス販売量の足元の動向、年度見通しについて、第1四半期決算以降の状況変化を聞きたい。
- A 1 : 年度見通しについて、発電向けについては、夏場の高稼働状況を踏まえ、下期についても休日・夜間運転含め稼働が高まると想定していることから、前回見通しを上方修正している。一方、一般工業用については前回見通しを下方修正している。これは、足元の需要について、工場等の設備稼働状況が落ちていることを反映したものである。この部分については懸念を強めており、当社のガス販売量への影響ももちろんではあるが、日本全体にとっても好ましくない事態として注視している。
- Q 2 : 電力事業について、下期も好調な見通しを発表しているが、その要因を聞きたい。
- A 2 : 電力販売の数量増によるものだ。数量増とは当社グループが保有する発電所の稼働が高まるものであり、たとえば夜間や休日の稼働を高めるべく努力していく。
- Q 3 : 東京電力の「ビジネス・アライアンス提案」についてどのように考えるか？
- A 3 : 当社は、東京電力が募集した「ビジネス・アライアンス提案」に応募登録した。具体的には「火力発電設備」「燃料運用」「小売」のそれぞれの項目について応募登録をしたものだ。登録可否の審査後に「アライアンス提案書」を提出することになっており、これから具体的な提案内容を検討していく。